



第92回学長定例記者会見

日時：平成29年10月19日（木）10：30～11：00

場所：広島大学 東広島キャンパス 法人本部棟4階 4F会議室

※テレビ会議システムにより、記者会見の様様を同時配信

受信場所：東千田キャンパス 総合校舎 1階会議室

※Ustream および YouTube による録画配信を実施

【発表事項】

1. 「ええね広大！学生広報ディレクター」を創設します
2. 第11回広島大学ホームカミングデーを開催します
3. ドイツ研究振興協会日本代表部・広島大学共催シンポジウム
「The Impact of the Humanities and Social Sciences: Discussing Germany and Japan」を開催します【使用言語：英語・日本語（同時通訳あり）】
4. 中国・チベットの標高5100mの山頂に望遠鏡を設置しました
—HinOTORI プロジェクトがいよいよ実働へ—

【お知らせ】

1. 第9回中国四国男女共同参画シンポジウム
「平和で持続可能な社会づくりにおける男女共同参画」を開催します
2. 大学院総合科学研究科 公開講座「誰かに話したくなる、こころを軽くする働きかた」
を開催します
3. ライティングセンターシンポジウム「研究者に対する英語アカデミックライティング支援
—組織的運営の視点から—」を開催します【使用言語：英語・日本語】
4. 高等教育研究開発センター 第45回研究員集会
「高等教育の財政問題-資金配分の市場化を考える」を開催します
5. 「未来博士3分間コンペティション2017」を開催します

■次回の学長定例記者会見（予定）

日時：11月下旬

場所：東広島キャンパス

平成29年10月19日

「ええね広大！学生広報ディレクター」を創設します

広島大学は新たな試みとして、本学学生を対象に、広大と地域社会を結ぶ役割を担う「ええね広大！学生広報ディレクター」を募集し、23人の学生が就任することとなりました。任期は10月から来年3月までの予定です。

学生広報ディレクターには、広島大学の顔として、広大と地域社会を結ぶ役割を担っていただきます。学生ならではのアイデアを生かして、情報発信の企画を大学スタッフと一緒にいき、大学と学生との「共創広報」を目指します。なお、次年度以降も、「ええね広大！学生広報ディレクター」の募集を毎年行う予定です。

【学生広報ディレクター活動内容の例】

- ・ 広島大学オフィシャルグッズのプロデュース
- ・ 広報誌『HU-plus』の学生ページ企画、取材
- ・ 公式ウェブサイト記事の執筆
- ・ TwitterなどのSNSを活用した情報発信の企画、運用
- ・ 研究成果などの記者説明会などの運営準備、進行補助
- ・ 広島大学の写真、動画素材の収集
- ・ 広報誌、ウェブ掲載写真等の撮影モデル 等

平成29年度「ええね広大！学生広報ディレクター」の活動開始にあたり、以下のとおり任命式を行います。

【日時】平成29年10月19日（木）12：15 開式

【場所】東広島キャンパス 法人本部棟 4F 会議室

【式次第】

- (1) 開式の辞
- (2) 任命状授与
- (3) 広島大学学長挨拶
- (4) 被任命者代表挨拶
- (5) 閉式の辞

※式終了後に、引き続き「記念撮影」を行います。

【お問い合わせ先】

財務・総務室広報部広報グループ
Tel：082-424-6781/Fax：082-424-6040

平成29年10月19日

第11回広島大学ホームカミングデーを開催します

広島大学では、東広島キャンパスで平成29年11月4日(土)、霞キャンパス及び東千田キャンパスでは、平成29年11月11日(土)に第11回広島大学ホームカミングデーを開催します。

広島大学ホームカミングデーは、広島大学と広島大学校友会が卒業生や元教職員などを招待して歓待するイベントとして、毎年実施しています。

東広島キャンパスでは、サタケメモリアルホールをメイン会場に、オープニングセレモニーで学長表彰・教育賞授与式を実施し、ミニ演奏会を挟んで、引き続きエジプト考古学者としてテレビなどでもおなじみの吉村作治氏による講演会「エジプト発掘の魅力」を開催します。

また、サタケメモリアルホール周辺では、連携市町による物産展や学生チーム企画、学部・研究科会場では様々な企画行事を実施し、夕方には学士会館にて懇親会を行います。

霞キャンパスでは、講演会「心臓病のいまとみらい」、東千田キャンパスでは、「法科大学院講演会」を開催いたします。

なお、東広島キャンパス及び霞キャンパスにおいては、同日に大学祭も開催されますので、地域の皆様も広くご来場ください。

【お問い合わせ先】

財務・総務室

総務グループ（校友担当） 羽田、川上、内城

Tel：082-424-4403/Fax：082-424-6015



平成29年10月19日

ドイツ研究振興協会日本代表部・広島大学共催シンポジウム
「The Impact of the Humanities and Social Sciences:
Discussing Germany and Japan」を開催します

広島大学は、ドイツ研究振興協会（DFG）日本代表部との共催で、「人文・社会科学の価値や影響」をテーマとした公開シンポジウムを開催します。

シンポジウムでは、「人文・社会科学が社会に与える影響」についての基調講演と、パネルディスカッションを行います。パネルディスカッションでは、本学の研究者を交えて、人文・社会科学の研究成果と社会との関連性や、研究成果が与える社会的・学術的影響などについて議論を行います。

近年、人文・社会科学の学術研究に対し、社会的な影響や有益性をめぐり厳しい視線が注がれ、その役割やあり方が問われております。本シンポジウムを通じて、これからの人文・社会科学の価値を社会にアピールする方法や、研究成果の評価方法について考えを深める機会にしたいと考えております。皆様のご参加をお待ちしております。

【日 時】2017年11月15日（水） 9：45～11：45（開場 9：20）

【会 場】広島大学 学士会館2階 レセプションホール（東広島）
未来創生センター4階 ミーティングルーム 4-1（東千田）
※東千田はTV会議での参加になります

【対 象】人文・社会科学の研究に興味のある大学構成員（学外者・一般の方も参加できます）

【言 語】英語および日本語（東広島会場のみ同時通訳イヤホンあり）

【定 員】60名程度（東広島50名程度、東千田10名程度）

【詳細・申込み】

http://www.dfg.de/jp/aktuelles/berichte/2017/171115_hss-satellite/index.html

【プログラム】

- 9：20 開場/Open
9：45 開会・挨拶/Symposium Starts, Opening Greeting
9：55 基調講演/Keynote Speech 「Truth-Impact-Power」
講演者：Peter Strohschneider DFG 会長
- 10：25 パネルディスカッション/Panel Discussion
登壇者：Peter Strohschneider DFG 会長
Julika Griem DFG 副会長
山本 陽介 広島大学理事・副学長（研究担当）
衛藤 吉則 広島大学大学院文学研究科 教授
草原 和博 広島大学大学院教育学研究科 教授
- 11：35 総括/Summary
11：45 閉会/Close

※ドイツ研究振興協会（正式名称：Deutsche Forschungsgemeinschaft、略称：DFG）はドイツの学界最大の自治組織で、基礎研究の支援を最重要事業としており、自然科学・人文科学の分野において大学や研究機関の研究をサポートしています。日本学術振興会（JSPS）に相当する組織であり、また、日本学術会議のように、学術的な問題について議会や政府、公共機関に助言も行っています。

【お問い合わせ先】

広島大学 学術室 研究企画室（三代川・中森） メールアドレス：intconf-support@hiroshima-u.ac.jp TEL:082-424-4427/2056 FAX:082-424-4592

The Impact of the Humanities and Social Sciences. Discussing Germany and Japan.

広島大学・ドイツ研究振興協会(DFG)日本代表部共催 公開サテライトシンポジウム

Satellite Symposium at Hiroshima University

大学、研究における人文・社会科学系のあり方が高い関心事項となっている今、研究環境の継続と更なる展開に向け「分野」の未来について、主に日本とドイツからの研究者が意見を交わす機会として 11 月に東京で開催される、国際シンポジウム「The Impact of the Humanities and Social Sciences. Discussing Germany and Japan」のサテライトシンポジウムが 15 日、広島大学で開催されます。

ドイツ研究振興協会 (DFG) 会長、シュトロローシュナイダー教授による基調講演「Truth – Impact – Power」の講演会をはじめ、パネルディスカッションでは DFG 副会長グリーン教授を座長に、パネリストとして広島大学から研究理事 山本陽介先生、文学研究科教授 衛藤 吉則先生、教育学研究科教授 草原 和博先生を迎え、これからの人文・社会科学研究について、また、学術研究活動に必要な財源が公的資金で賄われる場合、その支出を何をもって「相応しい」とするのか等、人文・社会科学を通して、学術界全体の問題として「研究の評価」について皆様と一緒に考えます皆様と考えていきます。

Academic research is a costly activity, and it is neither surprising nor improper that researchers and research institutions are asked to justify their use of public funds. What calls for analysis and discussion, however, is the expectation that such justifications be framed in terms of how likely a given individual research project is to meet “societal needs” or what “societal impact” or “output” it has or is likely to have in the future. This symposium brings together Japanese and German representatives of the Humanities and Social Sciences in order to seek new insights on the meaning and effects of the discourse of “societal impact” and the connected administrative practices.

A satellite symposium of the event, "The Impact of the Humanities and Social Sciences. Discussing Germany and Japan" (in Tokyo from November 13th to 15th) will be held on 15th November in Hiroshima. In this symposium, there will be a keynote lecture "Truth - Impact - Power" by Prof. Dr. Peter Strohschneider, the President of German Research Foundation (DFG), followed by a panel discussion chaired by Prof. Dr. Julika Griem, the Vice President of DFG to discuss the future of research in HSS with professors from Hiroshima University, Prof. Yohsuke Yamamoto, Academic Office, Executive and Vice President, Prof. Yoshinori Etoh, Graduate School of Letters and Prof. Kazuhiro Kusahara, Graduate School of Education.



The Impact of the Humanities and Social Sciences. Discussing Germany and Japan.

【日 時】 2017 年 11 月 15 日（水） 9:45～11:45（開場 9:20）

【Date】 November 15 (Wed), 2017 9:45～11:45 (Open 9:20)

【会 場】 広島大学 学士会館2階 レセプションホール（東広島キャンパス）

【Venue】 Reception Hall, 2nd Floor of Faculty Club,
Higashi-Hiroshima Campus, Hiroshima University

【プログラム / Programme】

9 : 20	開場 / Doors Open
9 : 45	開会・挨拶 / Opening, Greetings
9 : 55	基調講演 / Keynote Speech 「Truth – Impact – Power」 講演者 / Speaker: Prof. Peter Strohschneider DFG 会長
10 : 25	パネルディスカッション / Panel Discussion 登壇者 / Panellists: 座長 / Chair: Prof. Julika Griem DFG 副会長 Prof. Peter Strohschneider DFG 会長 山本 陽介 広島大学研究担当理事・副学長 Prof. Yohsuke Yamamoto, Academic Office, Executive and Vice President 衛藤 吉則 広島大学大学院文学研究科 教授 Prof. Yoshinori Etoh, Graduate School of Letters 草原 和博 広島大学大学院教育学研究科 教授 Prof. Kazuhiro Kusahara, Graduate School of Education
11 : 35	総括 / Summary
11 : 45	閉会 / Close



【言 語 / Language】 英語・日本語（同時通訳あり） Jp-En simultaneous interpretation

【問い合わせ / Inquiry】 ドイツ研究振興協会 DFG 日本代表部（佐藤）

aiko.sato@dfg.de 03-3589-2508

【参加登録申込み】 <https://form.jotform.me/72617848143462>

申込はこちらの QR コードもご利用ください





平成29年10月19日

中国・チベットの標高5100mの山頂に望遠鏡を設置しました

—HinOTORI プロジェクトがいよいよ実働へ—

広島大学宇宙科学センターでは平成25年(2013年)より、中国科学院国家天文台(北京)及び紫金山天文台(南京)と共同で、国家天文台阿里観測所(チベット自治区阿里地区、標高5100m)の観測適地に口径50cm望遠鏡を建設するHinOTORI(Hiroshima uNiversity Operated Tibet Optical Robotic Imager)プロジェクトを進めてきました。

このたび、9月下旬から10月上旬に掛けてドーム施設の建設を行い、10月6日には望遠鏡本体の設置工事が完了して、試験駆動に成功しました。今後、整備を進めて、来年秋には観測を開始する予定です。重力波天体やニュートリノ天体、超新星等のネットワーク型連携観測において、中央アジア地域における重要な基地として活躍する予定です。

なお、本観測所は、設置場所の標高が高いため研究者は常駐せず、本学の研究室からリモートで操作、観測を行います。

これは、科研費 新学術領域研究「重力波天体の多様な観測による宇宙物理学の新展開」A02「天体重力波の光学赤外線対応現象の探索」(2012-16年度)を主な財源として、重力波天体の追跡観測を行うことを目的として設置されたものです。



【お問い合わせ先】

広島大学 宇宙科学センター 特任助教 内海洋輔

TEL: 082-424-6278 E-mail: youtsumi@hiroshima-u.ac.jp

広島大学 宇宙科学センター長 教授 川端弘治

TEL: 082-424-7371 E-mail: kawabtkj@hiroshima-u.ac.jp



平成29年10月19日

第9回中国四国男女共同参画シンポジウム
「平和で持続可能な社会づくりにおける男女共同参画」
を開催します

広島大学は、文部科学省の平成29年度科学技術人材育成費補助事業「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（牽引型）」に採択されました。その事業の一環として、共同実施機関のマツダ株式会社、デルタ工業株式会社、一般財団法人国際開発センターのご協力と、広島県、広島市、東広島市、JICAのご後援をいただき、中国地区・四国地区の女性研究者活躍推進、男女共同参画推進を目的に本シンポジウムを開催いたします。

「平和で持続可能な社会づくりにおける男女共同参画」をテーマに、基調講演では本学の男女共同参画の取組を紹介させていただき、特別講演では元千葉県知事で現在は国内外で災害復興における男女共同参画推進に尽力されている堂本暁子氏に東日本大震災の復興と男女共同参画についてお話をいただきます。パネルディスカッションでは、4名のパネリストを迎えて女性の参画と持続可能な社会づくりに向けて事例報告・討議を行います。

参加費は無料でどなたでも参加いただけます。みなさまのご参加をお待ちしています。

記

日時：平成29年11月17日（金）

13時00分～16時30分（受付開始：12時00分）

場所：広島大学東広島キャンパス学士会館2階レセプションホール

テーマ：平和で持続可能な社会づくりにおける男女共同参画

内容：

○オープニング・講演

基調講演：「広島大学の長期ビジョンと男女共同参画」

相田美砂子（広島大学理事・副学長（大学改革担当））

特別講演：「女性の参画と持続可能な社会：東日本大震災に学ぶ」

堂本 暁子（男女共同参画と災害・復興ネットワーク代表）

○パネルディスカッション

テーマ：女性の参画と持続可能な社会づくりに向けて

【お問い合わせ先】

財務・総務室人事部人事グループ

男女共同参画推進室 三木 典子

TEL:082-424-4428 FAX:082-424-4355

E-mail: syokuin-sen@office.hiroshima-u.ac.jp

第9回中国四国男女共同参画シンポジウム

平和で持続可能な社会づくりにおける男女共同参画

日時 平成29年11月17日(金)

場所 広島大学学士会館レセプションホール(東広島キャンパス)

オープニング・講演

開会挨拶 13:00～

越智 光夫 広島大学長

来賓挨拶 13:05～

広島県知事(予定)

文部科学省科学技術・学術政策局 人材政策課 人材政策推進室

基調講演 13:15～

相田 美砂子 広島大学理事・副学長(大学改革担当)
「広島大学の長期ビジョンと男女共同参画」

特別講演 13:45～

堂本 暁子 男女共同参画と災害・復興ネットワーク代表
「女性の参画と持続可能な社会：
東日本大震災に学ぶ」

・休憩 14:30～14:45

シンポジウム
参加費無料

情報交換会 4,000円

要申込11月10日

無料託児あり

要申込11月2日

パネルディスカッション

テーマ

女性の参画と持続可能な社会づくりに向けて

事例紹介

14:45～

■パネリスト

事例①

二神 透

愛媛大学社会連携推進機構防災情報研究センター副センター長
兼 社会共創学部 准教授

事例②

信政 ちえ子

広島市男女共同参画推進センター センター長

事例③

田中 由美子

国連ウィメン日本協会理事/元JICA国際協力専門員

事例④

木村 泰之

マツダ株式会社R&D技術管理本部開発管理部 部長

■コメンテーター

堂本 暁子

男女共同参画と災害・復興ネットワーク代表

■コーディネーター

石田 洋子

広島大学副理事(男女共同参画担当)、男女共同参画推進室長、
教育開発国際協力研究センター教授

・閉会挨拶 片山 純一 広島大学理事(財務・総務担当) 16:15～

・情報交換会 会場「ラ・ボエーム」 閉会后～18:30

お申込み・お問い合わせ



国立大学法人 広島大学 男女共同参画推進室

〒739-8524 広島県東広島市鏡山1-1-2

TEL:082-424-4428 FAX:082-424-4355 E-mail:syokuin-sen@office.hiroshima-u.ac.jp



主催 国立大学法人広島大学 協力 マツダ株式会社・デルタ工業株式会社・一般財団法人国際開発センター

後援 広島県・広島市・東広島市・JICA

第9回中国四国男女共同参画シンポジウム 申込書

～平和で持続可能な社会づくりにおける男女共同参画～

日時 平成29年11月17日(金) **場所** 広島大学学士会館レセプションホール

●シンポジウム・情報交換会 締切 11月10日 シンポジウム参加費無料／情報交換会参加費4,000円

所属	職名	氏名	情報交換会
1			参加・不参加
TEL. — —		E-Mail.	
2			参加・不参加
TEL. — —		E-Mail.	
3			参加・不参加
TEL. — —		E-Mail.	
4			参加・不参加
TEL. — —		E-Mail.	
5			参加・不参加
TEL. — —		E-Mail.	

●託児申込 要予約 締切 11月2日 料金無料

保護者氏名	お子様氏名	年齢	性別
1		才	男の子・女の子
2		才	男の子・女の子

参加お申込み方法

※事前申し込みをお願いします。(当日参加可)

※お申し込みの際は、WEBでの申込または、上記の申込書に必要事項をご記入のうえ、FAXまたは、E-mailにてご連絡ください。

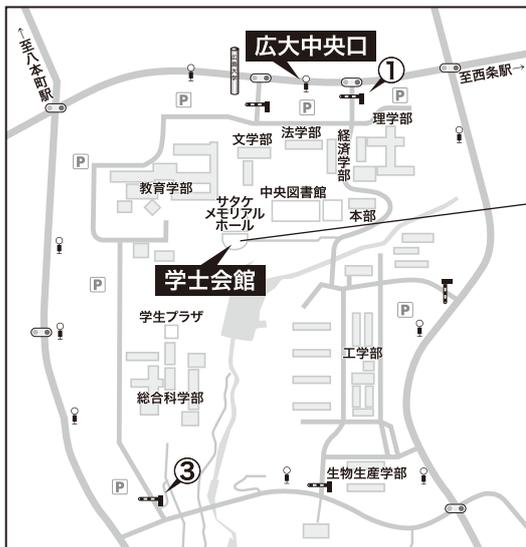
※ご記入いただく個人情報につきましては、当シンポジウムでのみ使用し、これ以外の目的で利用することはありません。

★シンポジウム参加費 無料

★情報交換会参加費 お一人4,000円(当日受付にて徴収)

★申込期限 シンポジウム・情報交換会…11月10日(金)／託児…11月2日(木)

WEB申込: goo.gl/dx4ZBc



広島大学男女共同参画推進室

〒739-8524 広島県東広島市鏡山1-1-2

TEL:082-424-4428 FAX:082-424-4355

E-mail: syokuin-sen@office.hiroshima-u.ac.jp

広島大学学士会館レセプションホール
(東広島キャンパス)

【交通案内】

■公共交通機関でお越しの場合

◇JR西条駅前から「広島大学」行バス乗車(所要時間15分)、広大中央口下車、徒歩5分。

お帰りも同じバス停から乗車してください。

(バスはキャンパス内を反時計まわりに周回して西条駅へ戻ります。)

◇JR東広島駅(新幹線)の場合

タクシーで15分

■車でお越しの場合

①、③番ゲートよりお入りください(他のゲートは入構カード専用です)。

教育学部周辺の駐車場が便利です。お帰りはどのゲートからも出られます。



平成29年10月19日

広島大学大学院総合科学研究科 公開講座
「誰かに話したくなる、こころを軽くする働きかた」
を開催します

昨今、ハラスメントや過労死・過労自殺、長時間労働がマスコミを賑わし、過剰で不当な労働が強いられていることが大きな問題となっています。

そのような社会情勢の中、「ワークストレスと病理」「リーダーのモラル問題と課題」「労働と睡眠問題」というテーマで3回にわたり公開講座を開講し、組織・労働に潜むリスクを心理学の視点で分かりやすく紹介します。

広島大学大学院総合科学研究科「グローバル社会におけるリスクの総合科学」研究推進プロジェクトは、平成28年4月から東千田キャンパスにある未来創生センターに拠点を置いて、社会の「リスク」の低減に向けて研究プロジェクトや公開講座を展開しています。

皆様ふるってご来聴ください。

記

- 【日時】 平成29年11月18日(土)、25日(土)、
平成29年12月 2日(土)
各日とも、13:00~16:20(受付12:40~)
- 【場所】 広島大学東千田キャンパス 未来創生センターM204号室
(広島市中区東千田町1-1-89)
- 【受講料】 無 料
- 【定員/対象】 各日 50名程度/社会人・学生・一般の方

【お問い合わせ先】

広島大学総合科学研究科支援室
TEL: 082-424-6306
E-mail: souka-soumu@office.hiroshima-u.ac.jp

公開講座

社会人・学生・一般の方
受講無料

誰かに 話したくなる こころを軽くする 働きかた

11/18
土



ワークストレスと病理

労働ストレスが引き起こす病について考えます

講師 岩永 誠（総合科学研究科 教授）

日本社会が抱える
組織・労働に潜むリスクを
心理学の視点で考えます

11/25
土



リーダーのモラル問題と課題

組織のリーダーのモラルに起因する問題とその課題について考えます

講師 坂田 桐子（総合科学研究科 教授）

12/2
土



労働と睡眠問題

労働者の睡眠問題について考えます

講師 林 光緒（総合科学研究科 教授）

- 時間 各回 **13:00～16:20（受付12:40～）**
- 定員 各回 **50名程度**
- 対象 社会人，学生，一般の方
- 会場 広島大学 東千田未来創生センターM204号室
（広島市中区東千田町1-1-89）
広電電停「日赤病院前」下車 徒歩約3分
※駐車場はございませんので、お車等でのご来場は
ご遠慮願います。

- 申込方法
電話またはメールにてお申し込みください。先着順。
（受付時間：**10:00～17:00** 土日祝日は除く）
広島大学大学院総合科学研究科 支援室（東広島）
TEL：082-424-6306
メール：souka-soumu@office.hiroshima-u.ac.jp



広島大学

広島大学大学院総合科学研究科

<https://www.hiroshima-u.ac.jp/souka>



広島大学大学院総合科学研究科主催「グローバル社会におけるリスクの総合科学」研究推進プロジェクト



平成29年10月19日

広島大学ライティングセンターシンポジウム
「研究者に対する英語アカデミックライティング支援
—組織的運営の視点から—」を開催します

広島大学ライティングセンターは、学術英語学会の協力を得て、標記シンポジウムを開催します。

全国の大学や研究機関に所属する「研究者に対する英語アカデミックライティング支援」の担当者が一堂に集まり、支援の先進的な事例や課題について情報交換や意見交換をすることを目的としています。組織的な取り組みの有効性や可能性、問題点についての考察や分析を共有する機会の提供を主眼としています。

【日時・会場】

日程：2017年11月18日（土） 10：00～16：45

会場：広島大学 東広島キャンパス ライブラリーホール

【主催】 広島大学ライティングセンター

【協力】 一般社団法人 学術英語学会

【対象】

大学や研究機関に所属する「研究者に対する英語アカデミックライティング支援」の担当者、あるいは関連事項に興味のある者

【言語】 日本語・英語

※プログラムの詳細は、ウェブページ
(https://www.hiroshima-u.ac.jp/wrc/2017_sympo) または別添のチラシをご覧ください。

【お問い合わせ先】

広島大学 学術室 研究企画室

ライティングセンター担当

メールアドレス：wrc-research@office.hiroshima-u.ac.jp

TEL:082-424-4469 FAX:082-424-4592



平成29年10月19日

高等教育研究開発センター 第45回研究員集会

「高等教育の財政問題-資金配分の市場化を考える」を開催します

わが国の大学は、国公私立を問わず、経営面で大きな転換点にあります。高等教育への公財政支援が削減され、基盤的経費と競争的研究費によるデュアルサポートシステムが崩壊し、基盤的研究は減少、競争的資金の占める割合は増加しています。

第45回研究員集会では、高等教育財政の専門家を交えて、競争的資金の歪みがどのように顕在化し、どのような形での大学への資源配分が望ましいのか皆様とともに議論を深めたいと思います。下記の日程ですので東広島市はやや冷え込む季節ですが、熱い研究員集会になるよう、多数のご参加をお待ちしています。

【プログラム】

＜セッション1：基調講演＞

高等教育財政の構造改革に向けて－なぜ混迷が深まるのか－

合田 隆史(尚絅学院大学学長)

＜セッション2：論点提起＞

- 1.アメリカの研究大学における資源配分
- 2.米国州政府による大学評価に基づく資源配分
- 3.競争的資金配分と教育・研究の歪みについて

阿曾沼明裕(名古屋大学)

吉田 香奈(広島大学)

吉田 浩(東北大学)

＜セッション3：コメントとディスカッション＞ 金子 元久(筑波大学)

【日時】平成29年11月23日(木・勤労感謝の日) 13:00～17:45
(12:30～受付開始)

【対象】大学教職員

【会場】広島大学学士会館2階レセプションホール

【申込方法】高等教育研究開発センターHPから(フォーム記入、送信してください)

<http://rihe.hiroshima-u.ac.jp/2017/09/11-23-45/>

【申込締切】11月17日(金)

【参加費】無料

【お問い合わせ先】

高等教育研究開発センター 教授 藤村正司
同 事務局

TEL:082-424-6240

FAX:082-422-7104

mailto:k-kokyo@office.hirsohima-u.ac.jp

第45回 研究員集会

高等教育の財政問題—資金配分の市場化を考える



日時 平成29年11月23日（木）13：00～17：45
会場 広島大学 学士会館2階 レセプションホール

[主催]  RIE
広島大学高等教育研究開発センター
Research Institute for Higher Education

[共催] IDE大学協会中国・四国支部

第45回 研究員集会

12:30~

受付

13:00~13:20

開会

副学長挨拶

宮谷 真人（広島大学理事・副学長(教育・東千田担当)）

センター長挨拶・趣旨説明

大膳 司（広島大学高等教育研究開発センター長）

セッション1 — 基調講演 — IDE大学協会中国・四国支部共催

司会 大膳 司（広島大学）

藤村 正司（広島大学）

13:20~14:10

基調講演

高等教育財政の構造改革に向けて
—なぜ混迷が深まるのか—

合田 隆史（尚絅学院大学学長）

14:10~14:30

質疑応答

14:30~14:45

休憩

研究員集会 会場案内図

広島大学 東広島キャンパス

広島大学高等教育研究開発センター

〒739-8512 東広島市鏡山1-2-2

TEL (082) 424-6240、6244、3540 (高等教育研究開発センター事務係)

FAX (082) 422-7104



※ 高等教育研究開発センターは中央図書館の下にあります(地図中央)。

※ センターと図書館の建物は同じですが、センターの入口は裏側(南側)にあります。

広島大学高等教育研究開発センターへの経路

● JR 在来線経由

・山陽本線西条駅からバス「広島大学」行で「広大中央口」下車(所要約12分、平日日中は約15分おきに出ています。)

● 山陽新幹線経由

・新幹線東広島駅前からバス「広島大学」行に乗り、「山中池」又は「広大中央口」下車。又はタクシー利用(約2,000円)。
・新幹線広島駅で下車後、JR山陽本線で西条駅まで行き、バス「広島大学」行に乗り、「広大中央口」下車(上記参照)。

● 高速バス利用(広島市発)

・広島バスセンター又は広島市内停留所(「不動院前」及び「中筋駅」)から広島大学方面行き的高速バス(グリーンフェニックス)に乗り、「広大中央口」下車。

● 航空機利用

・広島空港からJR白市駅までバスで行き(所要約15分)、JR山陽本線で西条駅下車(所要約10分)。バス「広島大学」行に乗り、「広大中央口」下車(上記参照)。



平成29年10月19日

「未来博士3分間コンペティション2017」を
開催します

グローバルキャリアデザインセンターでは、一昨年、昨年に引き続き、博士課程の学生が3分間で、自分の研究のビジョンと魅力を分かりやすく語るコンペティションを開催します。これは博士人材のコミュニケーション力の向上を図り、社会における博士人材と博士研究に対する肯定的な理解を深めることを目的としています。

学生・教職員だけでなく、企業・団体、中・高校生を含む一般の方のご参加をお待ちしています。

併せて、高校生による英語、日本語ポスター発表も行われます。

日時：平成29年11月25日（土）10：00～17：20
場所：東広島芸術文化ホール くらら 小ホール（東広島市）
プログラム：10：00～ 開会式
（予定） 10：15～ 講演
10：45～ 3分で未来を拓く！プレゼンテーション（日本語部門）
13：30～ 3分で未来を拓く！プレゼンテーション（英語部門）
14：50～ 1枚で未来を拓くポスターセッション
16：20～ 結果発表、表彰

お問い合わせ・参加申し込み先：

未来を拓く地方協奏プラットフォーム運営協議会事務局
（広島大学グローバルキャリアデザインセンター若手研究人材養成担当）

[TEL:082-424-2058](tel:082-424-2058)

E-mail: hiraku3@office.hiroshima-u.ac.jp

【お問い合わせ先】

教育室

グローバルキャリアデザインセンター 江森

TEL:082-424-2058 FAX:082-424-4565

想像は、 時空を 超える。



*Imagination will
take you everywhere*
—Albert Einstein

イマジネーションは、あなたをどこにでも
連れていくことができる。
—アルバート・アインシュタイン

未来の博士たちが、
自身の研究のビジョンと魅力を
3分間で分かりやすく語ります。
彼らの研究が
あなたの好奇心をかきたてたら、
あなたの1票を投じてください。

審査オーディエンス大募集!
対象:一般(中高生・大学生も大歓迎)

参加をご希望の方は、
下記大会公式サイトにて
事前登録をお願いします。

未来博士 3分間 コンペティション 2017

◎とき 2017年

11/25 

10:00 ▶ 17:15

**入場
無料**

◎ところ **東広島芸術文化ホール
くらら 小ホール**

10:00	開会式	
10:15	未来を拓く!おもしろ研究最前線 「わきまえる」細胞(プレゼンター:山口大学 助教 原 裕貴) 猫が誘う魅惑の世界(プレゼンター:広島大学 助教 松本 舞)	司会:バーゲル・ルミ (フリーアナウンサー/ 元TSSアナウンサー)
10:40	3分間で未来を拓く!プレゼンテーション	日本語 部門 博士課程後期学生 によるスピーチ
12:10	ランチ休憩 [同時開催] 1枚で未来を拓く!ポスターセッション [高校生によるポスター展示]	
13:10	[基調スピーチ] You, the Next! 次は、あなたの出番! (スピーカー:増井玲子)	
13:30	3分間で未来を拓く!プレゼンテーション	英語 部門 博士課程後期学生 によるスピーチ
15:00	[同時開催] 1枚で未来を拓く!ポスターセッション [高校生によるポスター発表]	
16:30	審査発表・表彰	
17:10	閉会式 ※プログラムは、諸事情により変更になる場合がございます。あらかじめご了承ください。	



主催・
お問合せ先

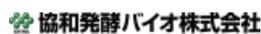
未来を拓く地方協奏プラットフォーム運営協議会事務局 **TEL 082-424-2058**
(広島大学グローバルキャリアデザインセンター) ◎メール hiraku3m@hiroshima-u.ac.jp

◎大会公式サイト http://home.hiroshima-u.ac.jp/hiraku/event/competition_2017/



共催 GSC広島(アジア拠点広島コンソーシアムによるグローバルサイエンスキャンパス構想)/
広島大学大学院リーディングプログラム機構「放射線災害復興を推進するフェニックスリーダー育成プログラム」及び「たおやかで平和な共生社会創生プログラム」

特別協賛



協賛 日本ハム株式会社中央研究所
広島県教育委員会
トーストマスターズ インターナショナル

審査するのは、
オーディエンスのあなたです。

審査オーディエンス大募集!

対象:一般(中高生・大学生も大歓迎)

未来博士 3分間 コンペティション2017

と き●2017年11月25日(土)
10:00~17:15

入場
無料

ところ●東広島芸術文化ホール くらら 小ホール

【プログラム】

◎司会:バーゲル・ルミ(フリーアナウンサー/元TSSアナウンサー)



9:30 開場/受付

10:00 開会式 ◎開会挨拶:広島大学 学長 越智光夫 ◎来賓挨拶:総合科学技術・イノベーション会議 議員 原山優子

10:15 未来を拓く! おもしろ研究最前線

◎HIRAKUの取組み:広島大学 理事・副学長 相田美砂子



「わきまえる」細胞

みなさんは、TPOをわきまえた行動ができていますか?
私たちのカラダを構成する約60兆個の細胞は、その周りの環境にあわせて細胞自身のはらたきを巧みに調整しています。この小さな小さな細胞が立場を「わきまえる」方法の一例を紹介します。

◎プレゼンター
山口大学 助教
原 裕貴



猫が誘う魅惑の世界

ネコはなぜ、死ぬときに姿を消すのでしょうか?
魔女が黒猫を連れてくるのはなぜ?
長い歴史の中で猫たちが背負ってきた運命...
猫と魔術、猫の神秘性などに注目し、文学や文化の中に表された猫の世界を、そして猫たちが作り出す時空間を見ていきたいと思ひます。

◎プレゼンター
広島大学 助教
松本 舞

10:40 3分間で未来を拓く! プレゼンテーション 日本語部門

博士課程後期学生が、自身の研究のビジョンと魅力を3分間で分かりやすく語ります。

オーディエンス賞は、あなたの1票で決まります。

発表する学生の情報は、大会公式サイトをご覧ください。また、大会当日のライブ動画配信も公式サイトで行います。

12:10 ランチ休憩

同時開催 1枚で未来を拓く! ポスターセッション

13:10 基調スピーチ You, the Next! 次は、あなたの出番!



(スピーカー:増井玲子/2016年 国際スピーチコンテスト 日本代表)
「私の英語も少しは上達してきたかな」と思っていた矢先に大失敗、全然喋れなかった自分に呆然としてしまったことはないですか? あなたが小さな挫折に陥ったとき、このスピーチを思い出していただきたいと思ひます。

13:30 3分間で未来を拓く! プレゼンテーション 英語部門

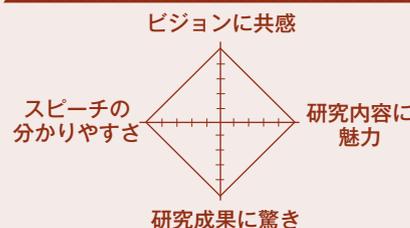
15:00 同時開催 1枚で未来を拓く! ポスターセッション

16:30 審査発表・表彰

17:10 閉会式 ◎徳島大学 理事・副学長 佐々木 卓也

※プログラム終了後、発表者・関係者による交流会があります。

審査基準



賞

- ★最優秀賞
- ★HIRAKU学長特別賞
- ★グローバル・チャレンジ賞
- ★優秀賞
- ★オーディエンス賞
- ★協賛企業賞
 - ・大塚製薬賞
 - ・協和発酵バイオ賞
 - ・SPRINGER NATURE賞
 - ・中外テクノス賞
 - ・IBM賞
 - ・JSW日本製鋼所賞
 - ・マツダ賞

同時開催 1枚で未来を拓く! ポスターセッション
次世代の研究者をめざす高校生によるポスター発表をご覧ください。

東広島芸術文化ホール くらら
3階サロンホールにて大公開!

※上記内容は、諸事情により変更になる場合がございます。あらかじめご了承ください。



未来を拓く地方協奏プラットフォーム
HIRAKU
Home for Innovative Researchers and Academic Knowledge Users

未来を拓く地方協奏プラットフォーム「HIRAKU」とは...

<http://home.hiroshima-u.ac.jp/hiraku/>

広島大学が代表機関、山口大学と徳島大学が共同実施機関として推進している事業。若手研究者が、人社系・理工系のジャンルを越えて異なる領域にも果敢に挑戦することで、社会を変革する意識と情熱を持った人材となることをめざしています。また、中国・四国地方を中心とする西日本の国公立大学、そして多くの企業や公的機関を連携機関とした産学官コンソーシアムを形成し、協力して次世代を担う優秀な若手研究者の活躍の場を創出します。